

## 補助金調書

補助金名	保育士資格取得等支援事業補助金 (認可外保育施設従事者の保育士資格取得に対する補助金:要綱第3条(1), 要綱第5条(1)①)			担当課 (連絡先)	こども未来局指導監査課 (TEL 092-711-4262)	
交付先	<input type="checkbox"/> 団体	認可外保育施設		区分	その他の補助金	
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募	(公募の場合) 公募時期	通年			
(公募の場合) 応募要件	市の定める要件を満たす認可外保育施設					
(非公募の場合) 非公募の理由						
補助開始年度	平成25	年度	経過年数	6	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	認可外保育施設に勤務している保育士資格を有していない保育従事者の保育士資格取得を支援し、当該施設が認可保育所に移行すること等によって必要となる保育士の増加を図り、子どもを安心して育てることができるような体制整備を行う。					
補助金の終期	平成31	年度	延長回数	1	回	
終期を延長する理由	認可外保育施設において保育従事者等が保育士資格の取得を支援することにより、保育の質の向上と当該保育施設が認可保育所に移行すること等によって、保育士の増加を図ることが期待できるため、今後も本補助金を継続して実施する必要がある。					
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率 <input type="checkbox"/> その他 【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】(別表の1) ・養成施設卒業により資格取得の場合 養成施設の受講等経費の1/2補助(上限300千円) ・保育士試験のすべてを免除され保育資格取得の場合 養成施設の受講等経費の1/2補助(上限100千円または200千円) ・代替保育従事者雇上費 1日6,390円					
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】					
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件 983 千円	0 件 0 千円	2 件 312 千円	2 件 174 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	認可外保育施設に対し、当該保育施設が雇用している保育士資格を有していない保育従事者が保育士資格を取得するために要した、保育士養成施設の受講料及び受講する保育従事者の代替に伴う雇上費の費用を助成					
補助金交付 による効果	認可外保育施設に勤務している保育士資格を有していない保育従事者の保育士資格取得を支援することにより、当該保育施設が認可保育所に移行すること等によって、保育士の増加を図る。					

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

## 補助金調書

補助金名	保育士資格取得等支援事業補助金 (幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得に対する補助金:要綱第3条(2), 要綱第5条④)			担当課 (連絡先)	こども未来局指導監査課 (TEL 092-711-4262 )	
交付先	<input type="checkbox"/> 個人	個人及び私立保育所, 認定こども園, 認定こども園移行予定施設の施設長		区分	その他の補助金	
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募	(公募の場合) 公募時期	通年			
(公募の場合) 応募要件	保育士資格を有していない幼稚園教諭免許状を有する者, またはその者が勤務する施設の施設長					
(非公募の場合) 非公募の理由	/					
補助開始年度	平成26	年度	経過年数	5	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得特例を活用した保育士資格取得を支援し, 保育士の増加を図り, 子どもを安心して育てることができるような体制整備を行う。					
補助金の終期	平成31	年度	延長回数	1	回	
終期を延長する理由	子ども・子育て新制度における特例制度を利用することで, 保育士資格を取得するために要する時間等が軽減され, また本事業を利用することで受講料の1/2を助成されることにより, 保育士の増加を図ることが期待できるため, 今後も本事業を継続して実施する必要がある。					
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率 <input type="checkbox"/> その他 【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】(別表の3) 養成施設の受講等経費の1/2補助(上限100千円)					
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】					
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	1 件	1 件	0 件		
	100 千円	28 千円	10 千円	0 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	幼稚園教諭免許状を有する特例対象者又は, 当該特例対象者が勤務する施設に対し, 保育士資格取得に要した養成施設校の受講料等の費用助成					
補助金交付 による効果	保育士資格を有することで, 保育士の人材確保と保育の質の向上につながる。					

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

## 補助金調書

補助金名	保育士資格取得等支援事業補助金 (保育所等従事者の保育士資格取得に対する補助金:要綱第3条(3), 要綱第5条(1)②)			担当課 (連絡先)	こども未来局指導監査課 (TEL 092-711-4262 )	
交付先	<input type="checkbox"/> 個人	私立保育所, 認定こども園, 認定こども園移行予定施設の施設長		区分	その他の補助金	
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募	(公募の場合) 公募時期		通年		
(公募の場合) 応募要件	対象となる施設に勤務している保育士資格を有していない保育従事者で保育士資格取得を希望する者が勤務する施設の施設長					
(非公募の場合) 非公募の理由						
補助開始年度	平成26	年度	経過年数	5	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得特例を活用した保育士資格取得を支援し, 保育士の増加を図り, 子どもを安心して育てることができるような体制整備を行う。					
補助金の終期	平成31	年度	延長回数	1	回	
終期を延長する理由	本事業を利用することにより, 受講料の1/2の助成を受けることができる。保育士の増加と保育の質の向上につながる事が期待できるため, 今後も本事業を継続して実施する必要がある。					
交付対象経費及び補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率 <input type="checkbox"/> その他 【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】(別表の4) ・養成施設卒業により資格取得の場合 養成施設の受講等経費の1/2補助(上限300千円) ・保育士試験のすべてを免除され保育資格取得の場合 養成施設の受講等経費の1/2補助(上限100千円または200千円)					
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】					
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	0 件	1 件	0 件		
	300 千円	20 千円	20 千円	0 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	保育所, 認定こども園, 認定こども園の認定を目指す幼稚園, 乳児及び児童養護施設に対し, 当該施設に勤務している保育士資格を有していない保育従事者が, 保育士資格を取得するために養成施設校で要した受講料等の費用助成					
補助金交付 による効果	保育士資格を有することで, 保育士の人材確保と保育の質の向上につながる。					

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

## 補助金調書

補助金名	保育士資格取得等支援事業補助金 (保育教諭のための保育士資格を有する者の幼稚園教諭免許状に対する補助金:要綱第3条(4), 要綱第5条(1)③)			担当課 (連絡先)	こども未来局指導監査課 (TEL 092-711-4262 )
交付先	<input type="checkbox"/> 個人	認定こども園, 認定こども園へ移行予定の施設長		区分	その他の補助金
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募	(公募の場合) 公募時期	通年		
(公募の場合) 応募要件	対象となる施設に勤務している保育士資格を有していない保育従事者で保育士資格取得を希望する者が勤務する施設の施設長				
(非公募の場合) 非公募の理由					
補助開始年度	平成26	年度	経過年数	5	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	子ども・子育て支援新制度における新たな幼保連携型認定こども園の保育教諭等は、幼稚園免許状と保育士資格の両方の免許・資格を有する者とされており、幼稚園教諭免許状を有する者とされており、保育士資格を有する者の幼稚園免許状取得を支援することにより、子ども・子育て支援新制度の円滑な実施を図る。				
補助金の終期	平成31	年度	延長回数	1	回
終期を延長する理由	保育士資格を有する者に幼稚園教諭免許状取得を支援し、保育教諭を確保することにより、認定こども園へ移行する園の増加が期待できるため、今後も本事業を継続して実施する必要がある。				
交付対象経費及び補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率 <input type="checkbox"/> その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】(別表の5) ・大学等受講料等の1/2(上限100千円) ・代替保育士雇上費 1日当たり6,390円			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件 431 千円	4 件 174 千円	1 件 50 千円	2 件 77 千円	
前年度補助事業の主な実施概要	幼保連携型認定こども園及び幼保連携型認定こども園への移行を予定している施設に対し、当該施設に勤務している保育士資格を有する者が、幼稚園免許状を取得するために要した大学等の受講料等及び代替として雇い上げた保育士の雇用経費の助成				
補助金交付による効果	認定こども園への移行を予定している施設に対し、幼稚園免許状取得を支援することにより、保育教諭を確保する。				

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として( )書きで記載しております。

## 補助金調書

補助金名	保育士資格取得等支援事業補助金 (保育教諭のための幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得に対する補助金:要綱第3条(5), 要綱第5条(1)②)			担当課 (連絡先)	こども未来局指導監査課 (TEL 092-711-4262 )
交付先	<input type="checkbox"/> 個人	私立保育所, 認定こども園, 認定こども園移行予定施設の施設長		区分	その他の補助金
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募	(公募の場合) 公募時期		通年	
(公募の場合) 応募要件	対象となる施設に勤務している保育士資格を有していない保育従事者で保育士資格取得を希望する者が勤務する施設の施設長				
(非公募の場合) 非公募の理由	/				
補助開始年度	平成26	年度	経過年数	5	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	子ども・子育て支援新制度における新たな幼保連携型認定こども園の保育教諭等は, 幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方の免許・資格を有する者とされており, 幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得を支援することにより, 子ども・子育て支援新制度の円滑な実施を図る。				
補助金の終期	平成31	年度	延長回数	1	回
終期を延長する理由	幼稚園教諭免許状を有する者に保育士資格取得を支援し, 保育教諭を確保することにより, 認定こども園へ移行する園の増加が期待できるため, 今後も本事業を継続して実施する必要がある。				
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率 <input type="checkbox"/> その他 【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】(別表の2) 養成施設卒業により資格取得の場合 養成施設の受講等経費の1/2補助(上限100千円) ・代替幼稚園教諭雇上費 1日あたり 6,390円				
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	131 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
前年度補助事業 の主な実施概要	幼保連携型認定こども園及び幼保連携型認定こども園への移行を予定している施設に対し, 当該施設に勤務している幼稚園免許を有する者が, 保育士資格を取得するために要した養成施設等の受講料等及び代替として雇い上げた幼稚園教諭の雇用経費の助成				
補助金交付 による効果	認定こども園への移行を予定している施設に対し, 保育士資格取得を支援することにより, 保育教諭を確保する。				

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。